

令和8年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：082.地域空間論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。

ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

I～Ⅲに解答せよ。

I. 次の(1)～(6)のうちから、3つを選んで説明せよ。ただし、解答1つあたり3行以上、記述すること。

【60点】

- | | | |
|-------------|---------------------|----------|
| (1) 温泉 | (2) 地理的表示 (GI) 保護制度 | (3) 風土記 |
| (4) フロストベルト | (5) ポストモダン地理学 | (6) メコン川 |

II. 次のA～Eのうちから、1つを選んで解答せよ。

【120点】

- A. ギブソン・グラハムの「多様な経済 (diverse economies) 論」について、論述せよ。
- B. 農業における産地形成について、歴史地理学的観点から論述せよ。
- C. 東アジアの季節変化について、地域を越えて共通する点と地域ごとに異なる点を、論述せよ。
- D. 前近代における広域交通路の変遷について、論述せよ。
- E. 「ポスト・フォーディズム都市」の特徴について、論述せよ。

令和 8 年度 第 1 回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：082.地域空間論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字の I、II……）ごとに別の解答用紙を用いること。

ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

III. 以下の P~R のうちから、2つを選んで解答せよ。

【120 点】

P. 次の 5 万分の 1 地形図（平成 6 年修正：原寸大）は、大隅半島の一部である。この地図から読み取ることのできる自然環境と人文現象について、論述せよ。

出典：国土地理院発行5万分1地形図

令和 8 年度 第 1 回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：082.地域空間論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字の I、II……）ごとに別の解答用紙を用いること。

ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

Q. 次の表は、いくつかの国・地域における温室効果ガス排出量の変化と、2022年の1人あたりの排出量を示している。この表から読み取ることのできる地球温暖化抑制に向けた取り組みの地域的特徴について、論述せよ。

温室効果ガス排出量（CO₂換算）（単位 百万トン）

	1990年	2020年	2022年	1人あたり（トン）
中国	2515	10722	11378	7.52
アメリカ合衆国	5128	4725	5102	13.81
インド	689	2324	2748	1.78
EU（27ヵ国）	3612	2487	2607	5.61
ロシア	2615	1996	2117	11.31
日本	1058	999	986	7.79
OECD	11726	11113	11627	7.83
OECD以外	11597	23825	25601	3.38

資料：『日本国勢図会 2025/26』より作成

令和 8 年度 第 1 回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：082.地域空間論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字の I、II……）ごとに別の解答用紙を用いること。

ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

R. 次の英文を読んで、環境可能論の限界について、具体例を挙げながら論述せよ。



Tom Johnston (2017) Environmental Determinism.

In: *The International Encyclopedia of Geography*, Wiley Online Library

【参考】 dismiss 却下する 退ける prominence 重要 目立つ
nomothetic 法則定立的な